

令和7年度 第2回 鴨江小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

1 開催日時 令和7年7月23日(水) 13時30分から14時45分まで

2 開催場所 鴨江小学校 南校舎1階 会議室

3 出席委員 井上 泉 大石 宗一郎 青木 孝志 大渡 三千子
山本 高之 山下 健一 影山 明美 山口 利恵

4 欠席委員 齊藤 浩二 後藤 真吾

5 オブザーバー 桐澤 祐貴(県居協働センター)

6 学 校 杉山 友里(校長) 野中 律宏(教頭) 渡邊 夕紀子(教務主任)
城本 絵美(CSディレクター)
※熟議には全教職員が参加

7 傍聴者 1人

8 会議録作成者 CSディレクター 城本 絵美

9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、井上委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

(1) ビジョンの共有と中間評価

(2) 熟議 テーマ「学校教育に地域の力をさらに生かすために、どうするか」

① グループ熟議

② 全体熟議

- ・各グループの発表
- ・委員による話合い
- ・会長統括

11 会議記録

司会から、委員10名のうち8名の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) ビジョンの共有と中間評価について

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき中間評価について説明があった。

(2) グループ熟議

グループ熟議について教頭から説明があり、5 グループに分かれ熟議を行った。

○ 1 班（青木委員、影山委員、教頭、山本教諭、増田教諭）

- ・教員は一人一人を見る意識が強くなってきている。現在は子供たちを放置して教室を空けることがなくなったのでそこを補う地域の目があると助かる。危険性の伴う授業の補助（カッターナイフを使用する場面や家庭科の裁縫など）を今後も継続して見てもらいたい。

○ 2 班（大石委員、山口委員、紫藤教諭、大石教諭、村松教諭）

- ・今年度、学習支援西高生ボランティアは30名の生徒が集まっている。勉強に苦しんでいる子が参加できていない。もう少し敷居が低くなり気軽な気持ちで参加できるとよいと思う。西高は教員を目指している生徒も多いので winwin の関係が築けている。
- ・ミシンボランティアなどで地域の方と繋がりができて挨拶に繋がっている。長く継続してもらうことが大切である。広く色々な方を少しでも増やしていきたい。

○ 3 班（山下委員、渡邊教諭、竹内教諭、北村教諭、中谷教諭）

- ・〇〇チャレンジ・・・児童に粘り強さがなかったことがこれからの課題
- ・鴨江小ならではの JR 跡地、伊場遺跡、浜松まつりなど地域の特性を活用したい。
- ・インド人が増えているので地域で英語ができる方に通訳をお願いしたい。
→青木委員が立候補した。

○ 4 班（井上委員、冨田教諭、後藤教諭、石津教諭、倉本教諭）

- ・〇〇チャレンジの認知度が低い。地域の方に協力してほしい。
- ・挨拶はなぜ必要か学年ごとに目的意識を持たせる指導をしていく。
- ・ミシンボランティア等は今後もお願いしたい。安全面のフォローをお願いしたい。

○ 5 班（大渡委員、山本委員、長岡教諭、青木教諭、三野教諭）

- ・学習面の二極化
地域の大人の手を借りてドリルを見てもらったり、外国につながる子には宿題を一緒に見てもらえたりすると有り難い。低学年は下校を高学年の下校時刻に合わせるなどすれば安心である。教室に入れない子も別の場所なら登校できる子もいるのではないか。
- ・〇〇チャレンジ 新体力テストの補助（計測・記録）講座を開いてボールの投げ方などを教えたりしてもらう協力の仕方もあるのではないか。
- ・挨拶運動 散歩のついでなどで地域の方もいっしょにさせていただくのはどうか。

その他連絡事項等

- ・司会から、次回会議は令和7年10月10日（金）午後1時30分から午後3時まで会議室で開催する旨の報告があった。